
◇◆ほっかいどう防災教育協働ネットワーク◆◇
～メールマガジン第 43 号(平成 30 年 1 月 25 日発行)～

◇◇◇◇◇◇◇◇◆ INDEX ◆◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇

【1】トピックス

- HTB 北海道のチカラ 今、私たちにできることー3.11 とともに歩む

【2】北海道庁からのお知らせ

- 『北の災害食』レシピ集を作成しました。
- 平成 29 年度ほっかいどう防災教育協働ネットワークの集いの開催します
- 漫画啓発資料「冬の『まさか』～暴風雪への備え」

【3】編集後記

【1】トピックス

こちらでは、主に北海道内の防災の話題を紹介しています。

- HTB 北海道のチカラ 今、私たちにできることー3.11 とともに歩む

東日本大震災からまもなく 7 年。もう 7 年…。まだ 7 年…。

捉え方は人それぞれだと思います。ただ、忘れてならないのは、被災者は“過去の事実”だけではなく、“今も直面する現実”と向き合っているということです。この 7 年の間に、熊本では巨大地震が発生しました。

北海道は、台風による大雨で川が氾濫したり、土砂崩れが起きたりと、天災に見舞われました。HTB アナウンサーは、毎年 3 月に、東日本大震災と向き合うイベントを開催しています。

テーマは「防災・減災」いつ災害に直面するか分からない現実に向き合うために。言葉や、音楽、実際に防災グッズに触れることで、未来に備えて今できることを、皆さんとともに考える時間にしたいと思います。

・開催概要

と き 2018年3月11日(日)午前11時～午後4時
と ころ 札幌駅前通地下歩行空間(チ・カ・ホ)北4条展示空間

・内 容

(1)ステージ

アンサンブル奏楽(そら)コンサート
アナウンサーによる朗読
「防災・減災」をテーマにしたトークセッション

(2)体験スペース

避難所体験スペースの設置と防災グッズの展示や非常食の試食
被災地に届ける希望の種植え
「暮らしと珈琲 みちみち種や」のチャリティ CAFE

(詳しくはコチラ)

<https://www.htb.co.jp/dekirukoto/announcers/>

【2】北海道庁からのお知らせ

■ 『北の災害食』レシピ集を作成しました。

このたび、北海道では、『北の災害食』レシピコンテストに応募のあった204作品の中から北海道らしい災害食として認められた25の入賞作品をレシピ集に取りまとめました。

北海道の食の力で、心身ともにストレスの大きい避難生活の質を高める『北の災害食』を皆さまの日ごろの備えに活用してください。

(『北の災害食』レシピ集のページ)

<http://kyouiku.bousai-hokkaido.jp/wordpress/kitano-saigaishoku/kitanosagaishoku-resipishu-top/>

なお、北海道公式キッチン(cookpad内)でも、北の災害食レシピを掲載しています。

(北海道公式キッチン)

<https://cookpad.com/kitchen/15941596>

[一般食部門]

- ・北海道知事賞 体も心も温まる北海道自慢の三平汁 [浅野幾代さん(苫小牧市)]

<https://cookpad.com/recipe/4894914>

- ・札幌市長賞 血液サラサラいわしの麦まるうどん [三島春花さん(北見市)]

<https://cookpad.com/recipe/4894970>

- ・審査員特別賞 ほっこり、にっこり！ポテトのミルク煮 [佐藤貴子さん(網走市)]

<https://cookpad.com/recipe/4895002>

[アレルギー対応食部門]

- ・北海道知事賞 棒たらと貯蔵野菜のカレー風味噌汁

[池田浩輝さん・永山陽子さん・渡部明賢さん(江別市)]

<https://cookpad.com/recipe/4894949>

- ・札幌市長賞 みんなであったかつナ味噌雑炊 [川合由希恵さん(札幌市)]

<https://cookpad.com/recipe/4894994>

- ・おしるこ〜ん [山口由華さん(札幌市)]

<https://cookpad.com/recipe/4895022>

※ 他の入賞作品については、1月下旬より随時掲載する予定です。

■ 平成 29 年度ほっかいどう防災教育協働ネットワークの集いを開催します

この度、防災教育協働ネットワーク構成員が一堂に会し、防災教育のアイデアを共有するとともに、構成員同士の交流を促し、新たな協働につなげることを目的とした集いを昨年に引き続き開催します。(別途、ご案内をメールでお送りしています。)

(開催内容)

日 時 平成 30 年 2 月 27 日 (火) 15 : 00 ~ 17 : 30

場 所 赤レンガ庁舎 2 階 1 号 (本会場)、2 号 (意見交換会場)

対象者 ほっかいどう防災教育協働ネットワークの構成員

内 容 ア 防災教育事例発表

イ 平成 30 年度に向けた協働プロジェクトの提案説明

ウ 意見交換(協働プロジェクト企画案について)

申込

ほっかいどう防災教育協働ネットワーク事務局あてメールにて申込んでください。

(mail : somu.bosai22@pref.hokkaido.lg.jp) ※期日 : 平成 30 年 2 月 9 日

※ 終了後、別会場にて交流会の開催を予定しています。(18:00~20:00)

場所 カフェドモデル (札幌市中央区北 2 条西 7 丁目 かでる 2.7 2 階)

■ 漫画啓発資料「冬の『まさか』～暴風雪への備え」

例年、暴風雪や除雪中の転落事故など、「雪害」による人的被害が多数発生しており、今年の 1 月～3 月でも、6 人の方が亡くなっています。

道では、これまでもホームページなどを通じ、雪害による被害防止について周知してい

ますが、道民の皆様により分かりやすいよう漫画啓発資料「冬の『まさか』～暴風雪への備え」を作成しました。漫画は、暴風雪警報が発表されたときは外出を控える、屋根の雪下ろしは2人以上で行うといった、被害防止のポイントもわかりやすく紹介しています。以下のホームページからダウンロードすることができますので、是非ご活用ください！

(ダウンロード先)

[http //www.pref.hokkaido.lg.jp/sm/ktk/masaka.htm](http://www.pref.hokkaido.lg.jp/sm/ktk/masaka.htm)

【3】編集後記

本年最初の配信となります。今年もよろしくお願いたします。

また、ネットワークで20日に開催した「ほっかいどう防災ひろば in チ・カ・ホ」におきましては、関係機関の皆さま大変お疲れ様でした。当日はさまざまなブースに、たくさんの方が来場され、防災の関心の高さに、手ごたえを感じております。

私は、北海道のブースで新聞紙スリッパの製作体験を担当していましたが、「これ(スリッパ)、いいね～」と、お年寄りの方から多くの声があったことや、小さな子供が頑張っていてスリッパ製作に挑戦しているのを見ると、自然と笑みがこぼれ、喜びのひとときを頂きました。

ステージイベントは、なかなか顔を出すことができなかつたのですが、三浦浩さんの「南西沖地震津波紙芝居」には大変感銘を受けました。三浦さんの祖父母の教えが実際の避難に繋がったことを聞くと、改めて災害伝承や防災教育の大切さを噛みしめた次第です。

(もっち)

=====

発行：ほっかいどう防災教育協働ネットワーク事務局

(北海道総務部危機対策局危機対策課)

・最新情報発信中！フェイスブック「ほっかいどうの防災教育」

[https //www.facebook.com/hokkaido.bousaikyouiku](https://www.facebook.com/hokkaido.bousaikyouiku)

・ポータルサイト「ほっかいどうの防災教育」

[http //kyouiku.bousai-hokkaido.jp](http://kyouiku.bousai-hokkaido.jp)

=====